

「在宅生活改善調査」「居所変更実態調査」「介護人材実態調査」の概要

1 調査の目的

次期高齢者総合計画策定時の参考とするために国から新たに示された調査であり、「江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査」と併せて実施した。

2 各調査の目的等

調査名	目的	調査対象	送付件数 (回収件数)
在宅生活改善調査	現在のサービス利用では在宅での生活維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方等の検討に活用する。	居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所等	33 (27)
居所変更実態調査	介護施設等における過去1年間の新規入所(入居)の状況や退所(退去)の理由等を把握し、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能や外部サービス資源との連携等の検討に活用する。	介護施設等(特養、老健、グループホーム、サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等)	61 (43)
介護人材実態調査	介護人材の性別・年齢構成、資格保有状況、過去1年間の採用・離職の状況、訪問介護サービスの提供実態等を把握し、介護人材の確保、サービス提供方法の改善等の検討に活用する。	居宅系介護事業所(訪問介護、通所介護、小規模多機能型居宅介護等)、介護施設等(特養、老健、グループホーム、サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等)	146 (91)

3 調査手法 郵送による調査

4 調査期間 令和2年1月17日(金)～令和2年1月31日(金)

5 集計方法

国から示されたソフトを用いて、集計結果を作成。